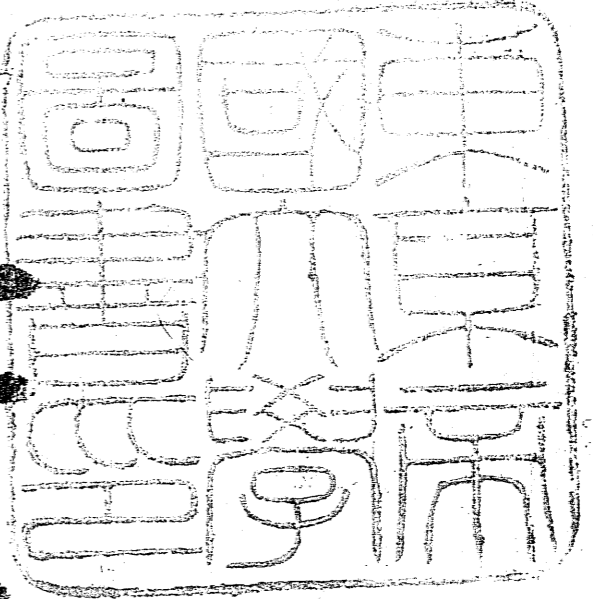


近世22.6-20-052

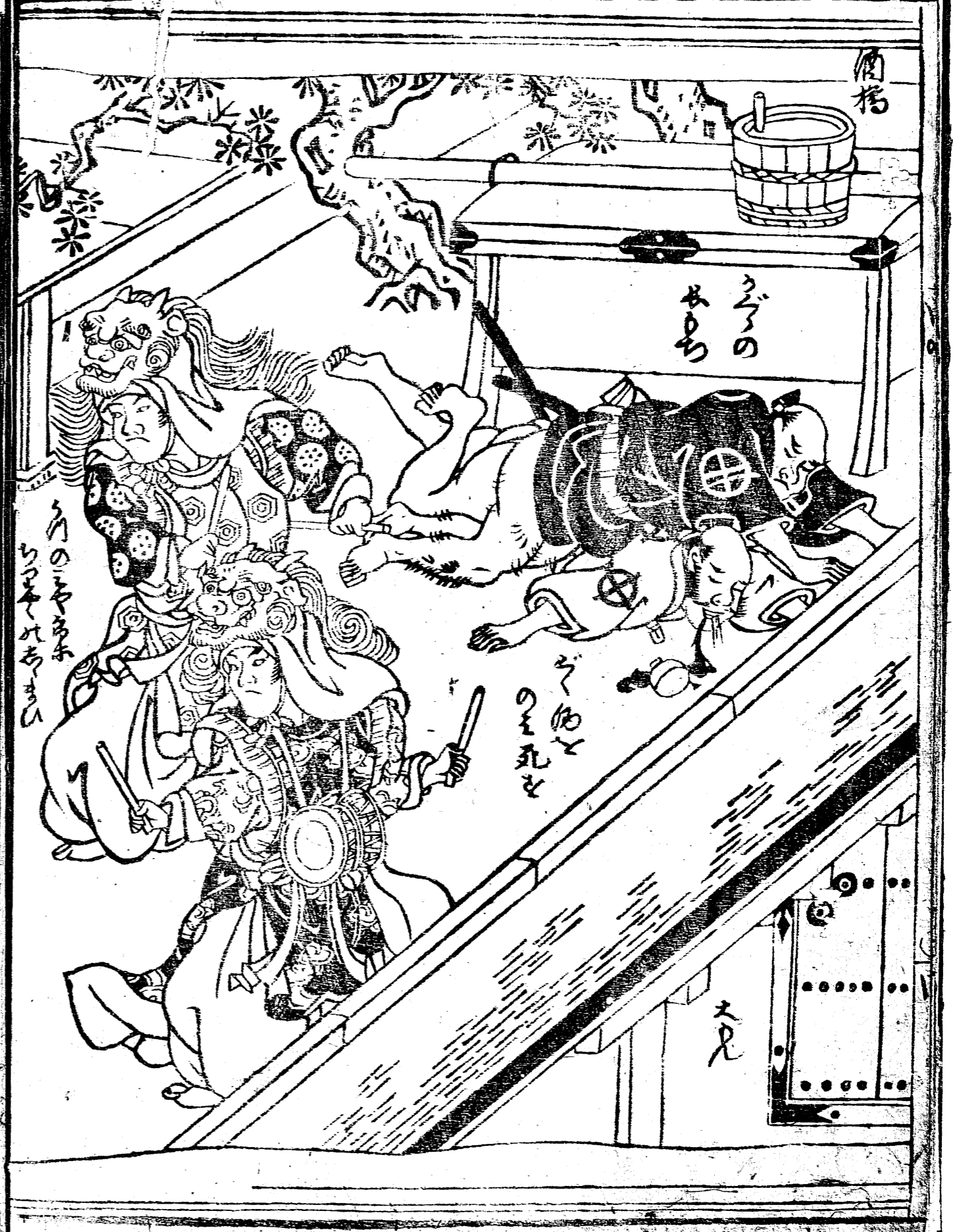


二十三日

序

相摸入道乃番天也。河内乃終不乃びぬ。一そくさあ  
 少んばり。大佛隆興寺。枚書作。皆多んと生疼。何ぞ  
 方便とて。天とて。亡君た。わらぬ。せん  
 と。何前と。そらぬ。まて。天と。まら。は。は。公。徳。捕  
 帝力。正。合。尊。氏。見。力。と。り。は。ん。と。教。練。と。ら。ら。じ  
 武。勇。と。ま。げ。ひ。事。又。正。成。も。き。り。も。や。り。て。枚。書。作。系  
 子。か。は。先。と。あ。る。事。は。い。ま。と。ま。り。天。皇。方。り。お。つ。ま。り  
 光。師。道。を。討。て。万。葉。の。御。代。納。ら。り。共。皇。の。繪。を。く。ん  
 一。の。時。同。校。を。あ。ら。り。難。は。る。候。典。是。は。代。の。す  
 所。中。に。い。て。い。ち。は。口。あ。ら。り。

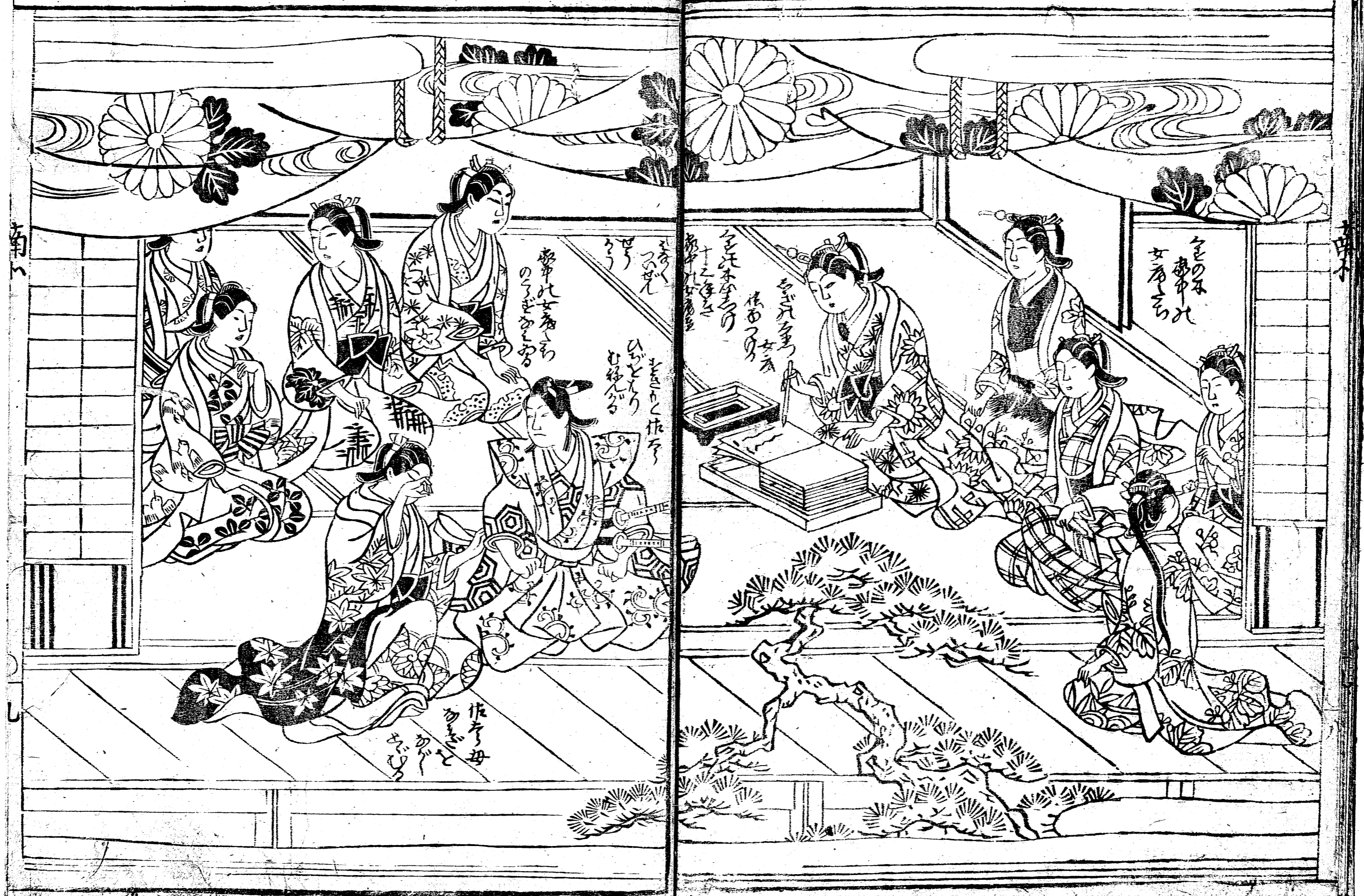












南

東

此の女は  
のりまゝ  
のりまゝ

まゝか  
つるん  
つるん  
つるん

佐々母  
あはれ  
あはれ

この女  
あはれ  
あはれ

まゝか  
つるん  
つるん  
つるん





